

所属 心理学部		職名 教授	氏名 加藤 公子	学位 博士（心理学）	兼担している研究科 心理医療科学研究科
研究分野 心理学			研究分野のキーワード 注意		
学歴					
2000年03月	愛知淑徳大学文学部コミュニケーション学科 卒業				
2002年03月	愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科人間コミュニケーション専攻博士前期課程 修了				
2005年03月	愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科心理学専攻博士後期課程 単位取得後満期退学				
職歴					
2009年04月	国立長寿医療センター研究所 長寿脳科学研究部 流動研究員				
2012年04月	独行）国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 脳機能画像診断開発部 研究員				
2013年04月	愛知淑徳大学心理学部心理学科 講師				
2016年04月	愛知淑徳大学心理学部心理学科 准教授				
2023年04月	愛知淑徳大学心理学部心理学科 教授				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
Factors determining subjective health perception among middle-and upper-middle aged individuals	共著	2022年02月	OBM Geriatrics 6	Hatta, T., Hatta, T., Hatta, J., Iwahara, A., Fuhiwara, K., Kato, K., & Hasegawa, Y.	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
気持ちが若いと10年後も注意機能は良好か？	共著	2023年12月	人間環境学研究 21 2	八田 武志・八田 武俊・加藤 公子・木村 貴彦・藤原 和美・八田 純子・岩原 昭彦	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
共行為場面における自己関連刺激処理—事象関連電位による検討—	共著	2024年04月	日本心理学会 心理学研究 95 1	加藤公子・吉崎一人	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
気持ちが若い高齢者は認知機能や運動機能を9年後も維持できる？	共著	2024年12月	人間環境学研究 22 2	八田 武志・八田 武俊・加藤 公子・木村 貴彦・八田 純子・長谷川 幸治・堀井 まりこ・藤原 和美・岩原 昭彦	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
高齢者の主観的年齢知覚における地域および時代の影響について—東山研究と八雲研究からの報告—	共著	2024年12月	人間環境学研究 22 2	八田 武志・八田 武俊・堀井 まりこ・山岡 由美・前田 紗彩・加藤 公子・木村 貴彦・八田 純子・藤原 和美・岩原 昭彦	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
地域在住高齢者のオーラルフレイルと栄養および認知機能との関連	共著	2024年12月	人間環境学研究 22 2	藤原 和美・岩原 昭彦・八田 武俊・八田 純子・加藤 公子・成澤 明・八田 武志	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
視線並びに矢印の空間適合性効果に課題要求が及ぼす影響	共著	2025年02月	日本心理学会 心理学研究 95 6	吉崎一人・加藤公子	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Effects of Cognitive and Physical Performances on Subjective Age Perception among Community-Dwelling Older People: Evidence from the Yakumo Study	共著	2025年07月	Advances in Geriatric Medicine and Research 7	Hatta, T., Hatta, T., Horii, M., Kimura, T., Kato, K., Hatta, J., Hasegawa, Y. & Iwahara, A.	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Cognitive but not physical advantages in Japanese SuperAgers: Evidence from urban and rural cohorts	共著	2025年12月	人間環境学研究 23 2	八田武志・八田武俊・堀井まりこ・木村貴彦・加藤公子・八田純子・長谷川幸治・中山玲子・宮脇尚志・坂手誠治・岩原昭彦	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
視線ならびに矢印における空間適合性効果の時間的特性：2段階仮説の検証	共著	2026年03月	認知心理学研究	浅井優子・吉崎一人・加藤公子	共同研究につき本人担当部分抽出不可能

Self-relevance dominates memory, whereas partner-relevance depends on retrieval goals: evidence from event-related potentials	共著	2026年05月	Consciousness and Cognition 104074	Kato, K., & Yoshizakim K.	共同研究につき本人担当部分 抽出不可能
学会発表					
他者との共行為が反応コンフリクトに与える影響 - 事象関連電位による検討 -	共同発表	2021年09月	日本心理学会第85回大会発(ウェブ開催(明星大学))		
他者との課題共有が記憶の符号化に及ぼす影響(2)	共同発表	2023年07月	日本認知心理学会第21回大会(東京都立大学南大沢キャンパス)		
他者との課題遂行によるストレス軽減効果の検討	単独発表	2024年05月	第42回日本生理心理学会大会(資生堂グローバルイノベーションセンター)		
非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響(1) - 自律神経活動による検討―	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響(2) - 能登半島地震による大津波警報発令時の避難指示アナウンスの効果―	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響(3) - 能登半島地震のNHK避難指示アナウンスの評価―	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
課題無関連情報と自己優先効果	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
無罪行為者の有罪文脈質問に対する評価 ―事象関連電位・隠匿情報検査パラダイムを用いた検討―	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響(4)―能登半島地震による各警報発令時のNHKアナウンサーによる避難指示効果の比較―	共同発表	2025年09月	日本心理学会第89回大会(東北学院大学 五橋キャンパス)		
空間ストループ課題における共同注意の役割	共同発表	2025年09月	日本心理学会第89回大会(東北学院大学 五橋キャンパス)		
ターゲット呈示後の手がかりが空間適合性効果に及ぼす影響	共同発表	2025年09月	日本心理学会第89回大会(東北学院大学 五橋キャンパス)		
隠匿情報検査における行為記憶の判別可能性 ―事象関連電位を用いた検討―	共同発表	2025年09月	日本心理学会第89回大会(東北学院大学 五橋キャンパス)		
記憶の処理過程における自己優先効果―事象関連電位を用いた検討―	共同発表	2025年09月	日本心理学会第89回大会(東北学院大学 五橋キャンパス)		
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
2000年06月 ～ 現在	日本生理心理学会				
2000年06月 ～ 現在	日本心理学会				
2009年02月 ～ 現在	日本認知心理学会				
2012年05月 ～ 2022年03月	日本認知症学会				
2019年06月 ～ 現在	日本神経心理学会				

社会活動		
2021年12月16日	名古屋市立桜台高等学校において模擬授業を行った。	
2023年04月01日～現在	科学研究費助成事業 基盤C（課題番号：23K03008）共行為における自己関連刺激処理のメカニズム：事象関連電位による検討（研究代表者）	
2023年11月14日	愛知県立豊田高等学校にて模擬授業を行った。	
2024年06月03日	名古屋市立北高等学校での模擬授業を行った。	
教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
2 作成した教科書、教材、参考書		
研究レポートの書き方（2021年度版）	2021年04月03日	2020年度版の改訂。
研究レポートの書き方（2022年度版）	2022年04月03日	2021年度版の改訂。
研究レポートの書き方（2023年度版）	2023年04月03日	2022年度版の改訂。
研究レポートの書き方（2024年度版）	2024年04月03日	2023年度版の改訂。
研究レポートの書き方（2025年度版）	2025年04月03日	2024年度版の改訂。
研究レポートの書き方（2026年度版）	2026年04月03日	2025年度版の改訂。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
Ⅴ 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		